



道総研

令和3年度

品質評価技術研修

「ヒューマンエラー」を様々な視点から学ぶ

(地独) 北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部
ものづくり支援センター、工業試験場

最近も様々な場所・業種で「人為的なミス」による事故が発生しております。中には、うっかりミスの対処で、これまで築き上げた品質や技術への信用・信頼を、一瞬で失ってしまったケースも少なくありません。対策として「AI・ロボットの活用」も一案ですが、費用の面や簡単に転換できない作業も多く存在します。

そこで、本年度の品質評価技術研修では、製品の品質評価に関する技術力向上のため、ヒューマンエラー(人為ミス、フールプルーフ、ポカよけ等)をキーワードに、人間の特性を認めつつ、できるだけ未然に防止、損失を少なくするノウハウなどを学びたいと思います。

今回は、錯視(錯覚)や分析手法など、それぞれの分野の第一線でご活躍されている方を、講師としてお招きいたしました。様々な分野の業務に携わる方にとって興味深い内容と思われるので、皆様のご参加をお待ちしております。



令和3年(2021)度 品質評価技術研修スケジュール

	開催日時	開催場所	内容・講師
第1回	9月8日(水) 14:00-17:00	オンライン (Zoom等を使用) ※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、工業試験場において開催する可能性もあります	【講演】ヒューマンエラーとその防止 中央大学 理工学部 教授 中條武志氏
第2回	10月5日(火) 14:00-17:00		【講演】錯視の科学(仮題) 立命館大学 総合心理学部 教授 北岡明佳氏
第3回	11月2日(火) or 9日(火) 【講演】9:30-12:30 【演習】14:00-17:00		【講演】あらゆる職場で使える人為ミス未然防止手法 「A-KOMIK」とは?(仮題) エーコムミック (一社)中部産業連盟 主任コンサルタント 富澤祐子氏
第4回	※日程が決まりましたら、受講予定者に連絡します。		【演習】A-KOMIK活用演習(仮題) (一社)中部産業連盟 主任コンサルタント 富澤祐子氏

募集要項

募集対象：道内ものづくり企業等でヒューマンエラー分析・予防に関わりのある方、またはヒューマンエラーに興味のある方

募集人数：20名(オンライン)

- ・参加にはオンライン環境が必要です。
- ・原則1社1名の先着順ですが、申込状況によっては、増員できる可能性もありますので、ご相談ください(できるだけ回線の共用にご協力ください)。
- ・全回参加される方を優先いたします。(特に第4回は、第3回の受講が必須です)

受講料：無料

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、原則オンライン開催となります。日程等は、決まり次第、参加者にご連絡いたします。

【研修に関するお問い合わせは】

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構

かみお

ものづくり支援センター(工業試験場 産業システム部 人間情報応用G) 神生まで

〒060-0819 北海道札幌市北区北19条西11丁目

TEL: 011-747-2379 (ダイヤルイン)

FAX: 011-726-4057 (総務課 FAX)

E-mail: kamio-naotoshi@hro.or.jp

URL: http://www.hro.or.jp/iri.html

この研修は、地域活性化雇用創造プロジェクト事業の一環として北海道から委託を受けて実施されます。参加頂いた企業の皆様には、研修会参加後の雇用面での取組や雇用実績などの調査をお願いしております。

お申込みは、FAX： 011-726-4057
または メール：kamio-naotoshi @ hro.or.jp まで

参加申込書

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 ものづくり支援センター（工業試験場） 神生 行

「令和3年度 品質評価技術研修」について、次のとおり申し込みます。

令和3年 月 日

会社名等		業種				
受講者氏名	(フリガナ)		参加希望回 (○印を記入してください)			
			第1回	第2回	第3回	第4回 (第3回受講が必要)
	所属名・ 役職名等 E-mail					
住所	〒 -					
	電話 () - FAX () -					
申込担当者名 ・連絡先 (受講者と異なる場合)	電話 () - FAX () - E-mail					
講師の方にぜひ聞いてみたいことがあれば、ご記載ください。						

※昨年度受講の方は、会社名と氏名だけで構いません(連絡先等に変更があった場合には、ご記入ください)
※お申込み時にいただいた個人情報については、セミナー・研修の運営目的以外では使用いたしません。

申込締切：8月27日(金)

【「新北海道スタイル」安心宣言】

道総研は、感染症対策として以下のことに取り組んでいます。

- 座席間隔確保 (収容率 50%以内、室内の換気)
- 手洗い、手指消毒、マスク等着用
- 発熱時等入場制限 (当日の検温の実施)
- 研修机・椅子等の備品の消毒 等

